魅力あるまちをつくろう！部会

●主な意見

魅力発掘	区内の面白い問題を掘り出し魅力を伝えられないか。地域の詳しい人を掘り起こして自分たちで発信。そういう方が増え地域とつながっていけば将来東淀川区を支える力になるのでは。(H28.2、8、9、10、H29.1)
魅力発信	東淀川区のイメージをもっと明るくするべき。いいところや魅力あるまちだということをもっと発信するべき。(H28.4、5、H29.9)
情報発信	区の HP を見る人は少ない。地域活動ページも見つけにくい。FB など SNS 発信も事後報告のみ。参加できるように事前に発信しては。地域の HP も周知してもなかなか見てもらえていない。学校の HP に地域活動協議会 HP のリンクをしてもらえたら保護者が見るのでは (H28.4、8、10、H29.6、8)
担い手	区役所で人材のデータベースを作っては。企業と連携など今までの枠を超えて考えるべき。若い担い手である PTA が各団体をつなげられたらいい。(H28.2、10、H29.6、8)
加入促進	町会加入していないと特典がわからない。重要性や活動など情報発信が必要。声かけなど地道なきっかけづくりが重要。(H29.4、6)
区民まつり	何らかの改善が必要。ファミリー層が興味を持てるプログラムや各地域からトーナメント戦で勝ち抜くなど区民の一体感のあるもの、学生の企画やクイズ、ダンス・ミュージシャン・保育園児などのステージイベントができないか。(H28.2、4、6、H29.4、9)
いっどこ元気フェス	各地域の色々な活動をシェアできたら。色んなところで小さな取組みを色々していることをまとめて発信しては (いっどこ元気東淀川∞(エンドレス)フェス) (H28.2、8)
子ども	子どもが楽しめる大きなイベントを区民まつりを含め考えては (H28.6) 大人と子どもが交流し一緒に楽しめる場所があるといい (H28.6)
緑化	緑が多いと穏やかになる。まちが美しくなる取組みができないか。自然の中で遊べる河川公園の強化や高架下の緑化などができないか。(H28.4、H29.6)
職員	職員の対応を同一にしてほしい。マニュアル化やチェックリストが必要では (H29.3) 個人情報事務処理誤りは同じような案件では。小さい単位まで情報共有を (H29.3)

●区政への主な反映

29 年度 運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・東淀川区魅力発見プロジェクト (区民による魅力発掘・発信) 発足 ・地域活動協議会について区 HP トップページ・SNS など各種媒体により活動広報。SNS では事前の開催予定情報も発信する (改定案) ・地域活動協議会について説明するパンフレット作成し転入者パック封入などで周知。 ・地域振興会 (町会) などの地縁型団体への加入促進の働きかけを行う (改定案)。 ・標準化・作業要領 (マニュアル・チェックリスト) を整備し、リスクの低減を図る
30 年度 方針(原案)	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいづくりの一翼を担う区民まつりの実施 ・まちの魅力発信
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・区民まつり実行委員会企画部会に魅力あるまちをつくろう！部会から 2 名参加。 ・大学協働での社会的課題授業「高齢者の地域デビュー」「河川活用イベント等東淀川区の魅力発見・発信」「子どもが夢を抱ける仕組みづくり」。

教育・子育て部会

●主な意見

こどもの居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発や淡路の勉強会の取り組みを各地域で広げていけないか。(H28.2) ・多種多様な居場所、登録や予約不要なゆるい居場所が必要。こどもたちを地域皆で見て孤独にしないこと。安心できて保護者と一緒に楽しめる居場所が必要(H29.2、4) ・学習支援だけでなく精神的な支援も必要では。学習の前に食事も(H29.4) ・シルバーパワーも借りて折り紙やあやとりなど教える側も元気になればいい(H29.6) ・学習支援や食事は補助金では困難。財政支援や食品会社等の協力依頼を。(H29.2)
自尊心向上	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートとの交流授業やテスト前勉強会、夏休みのプール開放時の勉強会など、夢を持つ・頑張るきっかけづくりが必要(H29.4、8、9) ・こどもたちそれぞれが自尊感情を持てるような環境づくり。地域の幅広い人間関係の中で育んだり、その子の状況を把握して個別に対応できるのが理想。(H29.6) ・家庭教育の見直しも大事。正しい子育てや教育の在り方の情報発信を(H29.2、6) ・赤ちゃんと直接触れ合うことで命の大切さや親に大切にされたことを学び自尊感情向上させる授業ができないか(H28.8、H29.8、9)
遊び場体験	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭は閉められボール遊びできない公園が多く、子どもたちはゲームばかりになる。学校開放など遊び場の確保を。少し危険なことも大人が見守り自由に体験ができる場所があれば。自分たちでルール・様々な体験が自尊感情を高める。(H29.2、6、8) ・こどもがまつりのブースをしたり公園清掃などで活躍する機会がつかれないか。箕面ではこども通貨がもらえキッズモールで使える取組み。(H29.8)
学力体力生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・直接、学力や運動能力の向上のためになるような施策があってもいいのでは。(H29.2) ・睡眠や食育など生活習慣を定着させこどもの健全育成につながる取組みを(H29.8)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・問題のある子だけでなく普通の子に対しても支援の目を向けるべき(H29.4) ・東淀川区にもいいところがあるということをこどもたちに伝えてほしい(H29.2) ・地域活動協議会の補助金が子育て・教育分野にあまり使われていない。子育て支援事業制度をつくるなどこどものためにお金を使うような体制にしてほしい(H29.8) ・分権型教育行政推進、区政会議・教育会議として学校と話す機会を持たないか(H29.9)
事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かりはニーズはあるはず。情報の届け方や周知を充実させること(H29.2、6) ・こども110番の家は地域の活動の差が大きい。こどもたちと回るなど充実を(H29.2) ・スポーツ大会などの企画に集まっているのは課題のない子では。本当にサポートの必要な子にアクセスして参加してもらうのが課題(H29.2)

●区政への主な反映

※教育・子育て部会提言「これからの子育て・子育ての方向性」(H28.10)を将来ビジョン等に反映

29年度運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもと地域を結ぶ居場所づくり・学習支援事業 ・体験型食育推進事業 ・一時預かり事業のニーズ調査を行うとともに様々な周知を実施 ・警察や学校と連携し問題行動のある生徒・児童に対する取組みを実施する。
30年度運営方針(原案)	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの居場所は、ニーズに応じ、無理なく、より開かれ参加しやすい運営にする ・様々な体験学習の機会や生活習慣を向上させる取組について、精査・検討する。 ・こどもの遊び場が規制等で減っていく中、取組み検討し関係機関と調整を進める。

健康・福祉部会

●主な意見

複合課題 世帯への 支援	生活保護の方が認知症など他の課題を抱えていたり、ひきこもりの子による高齢の親への虐待など複数の課題がある世帯が多い。的確な支援や連携はどのようにするのか。フローチャートなどつくっては。地域としては課題にある人がどこにいるのかどう掘り起こし支援するかが課題（H28.8、9、10、H29.9）
相談窓口	行政相談をもっと身近にしてほしい。福祉に関して相談先がわからない・はさまの人もいる。手帳を持っていない人、難病・特定疾患・精神疾患・こどもの障がいなど。予め相談窓口のパンフレットやマップを作成し事業所に設置しては。（H28.6、8、10、H29.6）
支援	ごみ屋敷やアルコール依存症の方は連携して早い段階での支援・継続した支援が必要。単身高齢者も多く、有事の際の鍵の開け閉めなど具体的な共助の取組も必要（H29.9）
連携・周知	行政には介護事業者と地域をつなぐ役割（ネットワーク）や窓口・制度・事例の周知などをお願いしたい（H28.1、H29.5）
ライフ ステー ション事業	ライフステーションのキーホルダー事業（高齢者・障がい者が持ち歩くことで有事の際ステーションを通じて疾患やかかりつけ医までわかり支援できるシステム）は有効。区民に地域などでももっと登録周知してほしい。（H28.4、6、H29.2）
介護等の 担い手に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業についてはサポートする側の支援・教育・人材育成も考えてほしい。 ・大阪市で将来介護を受けられない人が1万人。資格ある人は専門的な介護のみにし、資格なくてもできる仕事はわけて考えないと回らない。（H28.10） ・百歳体操も市の介護予防ポイント（事前講習のみで従事でき最高8千円還元）も浸透していない。もっと周知を（H28.8、H29.1）
担い手に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手も高齢化。地域の宝のような方のノウハウを伝え後継者養成が課題（H28.9） ・大学生が介護予防研修などを受けアルバイト感覚で担い手になれないか。単位が取れるなど。地域のこども食堂などにも関与してほしい。（H28.6） ・40～60代の世代が地域のネットワークを担うべき。ママ友など女性コミュニティから入ってもらえればいい。男性のきっかけづくりも必要。定年後時間のある人が地域活動することでコミュニティだけでなく自身の健康づくりにも。（H28.9、H29.6）
ICT 活用	17万人都市で人海戦術は無理。ICTを使っている他都市の例を取り入れては（H29.6）
健康	がん検診だけが平均寿命延伸の対策か。全体的な医療、他の検診も含めて必要では。検診について効果的なポスターを作っては。受診率が低い分析も必要（H28.4、6、H29.2）
認知症	認知症予防の関心が高まっている。認知症予防できる取組みがあればいい。（H29.6）
受動喫煙	こども受動喫煙が多いのでは。分煙・喫煙マナーの向上の取組を（H29.2、6、8）

●区政への主な反映

29年度 運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・複合課題世帯への支援（市モデル事業「総合的な相談支援体制の充実」含む） ・ライフステーションのキーホルダー事業など見守り活動を支援 ・健康格差の解消（ポスターなど検診受診勧奨、禁煙勧奨、食生活改善など健康全般）
30年度 運営方針 （原案）	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関に関する資料（リーフレット）作成 ・健康寿命延伸（食育、検診受診勧奨、受動喫煙・禁煙指導、体力づくり等、介護予防活動支援・サポーター育成）

防犯・防災部会

●主な意見

多様な 防災訓練	夜間災害の場合の訓練、マンションが多い・河川に近いなど地域課題に応じた訓練、女性に特化した訓練、地震だけでなく水害・火災の訓練、避難経路の確認や着衣でプールに入るような訓練も重要。(H28.6、8、10、H29.6、9)
周知啓発	訓練参加者(担い手も)が固定化。参加しない方への周知をどう広げるか。タンスを固定しているなどまず自助が大事。(H28.3、6、8、H29.6、8)
学校	中学生に避難所運営など自分たちは力になるという教育・訓練が必要。 若い人が集まる学校で授業の一環で防災を考えることも必要。学校と地域で訓練すると多くの参加者に周知できる(H28.8、H29.8、9)
エリア・ 地域間 連携	大きな災害が起きたときはエリアの話になる。小中学校との連携はもとより、区内の地域・大学・高校・商店街・企業(備蓄も含め)・施設(福祉・医療等)・行政の連携が必要、さらに隣接する地域間の連携を広げることが必要。 普段から合同訓練等交流し防災力向上をめざすべき。(H28.6、8、H29.6、7、9)
医療福祉	地域での要配慮者の把握や福祉・医療施設との連携が必要。(H28.8、H29.9)
重点犯罪	女性・子どもへの性犯罪や高齢者への特殊詐欺・消費者詐欺が多い。本人だけでなく地域ぐるみの意識向上や啓発が必要。(H28.6、8、H29.6、9)
青色パト ロール車	青色パトロール車の活用(他地域との回りあいやスピーカー活用、一斉巡回) (H28.3、H29.6、8)
防犯カメラ	防犯カメラ・夜間の防犯パトロールは重要。カメラは公設置で維持管理すべき。(H28.6)
防犯連携	地域の団結力が犯罪者を寄せ付けない。地域・警察・企業等一丸で防犯活動を(H28.3、H29.6、9)
自転車 マナー	・自転車マナー守らない人はマナー講習に来ない。他の講習と一緒にしては。(H28.6) ・子どもへの啓発の前に保護者のマナーを改善することが必要(H29.2、9) ・交通事故が起こらないようなハード面の整備も必要。(H29.2、8)

●区政への主な反映

29年度 運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性や夜間・水害など様々な事象を想定した多様な訓練 ・地域が主体的に関係機関と連携するなど、訓練参加者の増加をめざした訓練 ・中学生や小学生が自ら考え命を守る行動ができるような防災訓練・研修 ・高齢者・障がい者などの要配慮者を想定した防災学習・訓練 ・街頭犯罪の取り組みに加え、区民に大きな不安を与える子ども・女性を狙った性犯罪や特に急増している特殊詐欺、消費者保護のための取組みを強化 ・効果的な犯罪抑止啓発ポスターなどを作成し、施設や各地域集会所、大学等へ設置 ・夜間青色防犯パトロールの実施、区一斉青色防犯パトロールの実施 ・地域住民が集まる場所で自転車マナー啓発(マナー講習参加者以外に啓発を広げる)
30年度 運営方針 (原案)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において多様な主体の連携・協働により防災・減災活動、防犯活動、交通安全活動が進める(将来ビジョンも) ・その他、「区民の防災・減災の意識向上」や「青色防犯パトロール活動のより効果的な活動の促進」等、詳細な目的・手法等に反映。